

建設通信新聞

日測協のイノベーション大会

有意義な交流の場に

日本測量協会(清水英範会

長)は11、12の両日、東京都

文京区の東京大学伊藤国際学

術研究センターをメイン会場

に、「測量・地理空間情報イ

ノベーション大会2024」

を開いている。全国9支部の

サテライト会場を結んで測量

・地理空間情報に関する技術

とそれを利用した新事業の展

開、人材育成や教育研修など、

同分野の技術革新に役立つ幅

広い議論と情報発信の場とす

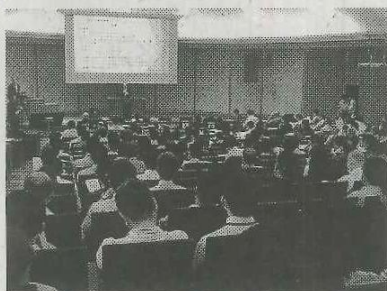
る。約2600人が参加登録

している。スポンサリスト

の会とジオメトリストの会が

共催する。

11日の開会に当たり、清水



会長は「測量・地理空間情報

野の方々には社会から注目さ

れ、ニーズも大きい。多忙であ

ることに加え、コロナ禍の時

代の生活習慣を背景に、同僚

以外と交流する機会があまり

取れないという方も多いと聞

くことした上で、「当大会を効

率的な勉強の場、有意義な交

流の場として最大限に活用し

てほしい」とあいさつした。

この日は、空間情報技術の

最新動向や地殻変動観測から

みた能登半島地震に関する特

別講演のほか、IoT(モノ

のインターネット)やビッグ

データ、AI(人工知能)な

どへの航空測量大手4社の対

応、ソクジヨの会の活動に関

するパネルディスカッション

があった。12日は、能登半島

地震への災害対応、準天頂衛

星、GNSS(衛星測位シス

テム)などの最新動向の講演

と、近年の災害対応事例を基

にしたパネルディスカッショ

ンなどを行う。

会場では、能登半島地震災

害対応展示やポスター展示な

ども実施している。

東京会場のプログラムは、

協会支部のサテライト会場に

も同時配信。7月1日から21

日まで、オンデマンド配信も

実施する。